

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢湖ツーデーマーチ開催費補助金				
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係	作成者	藤岡純
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	テンミリオン計画の推進			29
予 算 費 目	一般 会計	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費	
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	ウォーキング愛好者が歩くことを通じ、健康増進と人々の交流を図り地域活性化につなげる。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	ウォーキングによる心身の健康と自然にやさしいライフスタイルの創造を目指し健康で明る社会づくりを図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	1日目 伝説ヒロインコース（40km 20km 10km） 2日目 草原パノラマコース（30km 20km 10km 5km）

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	観光客数	人	1,057	1,350
	成果指標	観光客数対前年比	%		127
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		1,200	1,200	
	国 庫 支 出 金				
	県 支 出 金				
	地 方 債				
	そ の 他				
	一 般 財 源		1,200	1,200	
	人 件 費 (B)	—	785	807	
	職 員 数	—	0.1	0.1	
	職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト	—	1,985	2,007	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	1,878	1,487	
		—			
	市民1人当たりのコスト(円)	—	62	64	

【事務事業の今までの成果】

参加者のほとんどが宿泊している。比較的観光客が少ない時期であり、宿泊施設・観光施設にとって大きな経済効果があると思われる。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	地元参加者の増加に期待

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	コースの新鮮さや独創性の検討
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

他県には無い魅力あるコースやサービスの向上を図り、地域の活性化につなげる

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	参加者の多くが宿泊することで、経済波及効果は認められる。今後は魅力あるコース設定など更に参加者の増加を図ることは必要であるが、滞在型の観光客を増やしていくことは重要であり、引き続き事業としては必要考える。

一次評価診断図

